

# 複合施設検討委員会 会議録

会議名 第11回 複合施設建設検討委員会 全体会  
開催日 平成29年10月11日(水) 19:00~20:30  
開催場所 城北地区公民館 2階 洋間  
出席者 市:担当課員9名(高橋企画部次長、竹間子ども健康部次長、福島協働推進課長、宮谷財産経営課他5名)  
地域:20名  
司会者 吉田(まちづくり協議会会長) 記録者 鈴木

## 決定事項

- 複合施設建設と保育園運営を、市としては以後、下記の内容で進める。
- 1) 公募によって選定された保育園運営業者が、PPP手法で施設建設(保育園・公民館)を一括発注し、建設後「公民館部分」を市が買い取ることにする。
  - 2) 保育園運営業者の選定にあたっては、公募参加条件や事業手法、工期等、事前に運営業者と対話するサウンディング型市場調査を実施する。
  - 3) 整備後の管理運営については、公民館(市営)・保育園(民営)の両施設が、管理面・運営面についての内容を書面にて確認する。
  - 4) 公民館施設は、住民の使い勝手を考え、できる限り住民の便宜(声を生かして)を図って建設する。建設整備過程での情報は、適宜、建設検討委員会に伝える手立てを市は考える。

## 報告事項(詳細は別紙)

- 1) 署名活動について(署名数:2581名 \*署名世帯数1433世帯)
- 2) 交通アクセス改善の請願について(回答:重要調整事項と考え対応する。)
- 3) 9月14日及び9月29日の役員会における鳥取市の説明と協議内容について
  - ・ 保育園は民営とし、保育園運営を担う業者が「設計・施工・運営」を一括発注する。
  - ・ これまで、地域との話し合いの過程で確認してきた内容は、業者選定後も踏襲する。
  - ・ 建設後の、保育園運営業者と公民館との連携協議会には、市担当者も加わることにする。
  - ・ 保育園を民営とした場合の、住民にとってもメリットとデメリットについて。

## 議事内容等

1. 開会あいさつ(坂田建設検討委員会委員長)
  - ・ 第10回全体会(5月29日)以降の活動の経緯と、本日の議事の趣旨と目的について。
2. 報告(上記)
3. 質疑事項
  - 1) 複合施設建設と運営方法について
    - ・ 選定された運営業者が、PPP手法(公民連携整備)で施設建設を一括発注し、建設後「公民館部分」を市が購入する。
    - ・ 公募参加条件や事業手法、工期等、事前に業者と対話するサウンディング型市場調査を実施する。
      - \* サウンディング型市場調査とは、市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査です。
    - ・ 整備後の管理運営については、公民館・保育園の両施設が運営指針を書面にて確認する。
    - ・ 公民館施設は、住民の使い勝手を考え、できる限り住民の便宜を図っていく。
    - ・ 建設整備過程での情報は、適宜、建設検討委員会に伝えてほしい。
4. 閉会